

7

閣

法裁
指定

房官臣大	課局務主	裁	決	大區	件	番受
了結	領受	出提	領受	號番	名	號
大正 年	大正 年	大正 年	大正 年		朝鮮	
	三月廿一日	三月廿一日			の独立運動に關する件	
長	局長	聯	聯	主務局長	參事官	高級副官
長	課	張	聯	主務課長		
者	記	筆	案	審	主務副官	

聯
名

決
行
後
田
龍
課
名

參受第一〇二號
朝鮮の独立運動に關する件

250
248

0274

次官より侍從武官長へ通牒

首題ノ件ニ関シ三月十二日以前迄同二十日

迄ニ知り得タル状況別表ノ通ニ付不取

敢及通牒候也

陸軍省 陸軍部 第八六號

三月廿四日

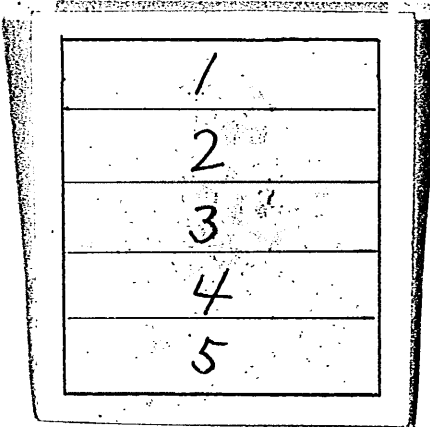
251

248

0275



分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0276
0277
0278
0279
0280

獨立運動為朝鮮人不穩ノ行動ニ関スル状況 (自三月十日 至今三月十日ノ間ノ調)

時日	場所 (區名)	騷擾者ノ行動	騷擾者ノ性質	出動兵力	狀況
三月十日	(黃海) 瑞興 載寧 附近	騷擾頻発ス		兵士約一千名	載寧ノ兵士約一千名ノ騷擾起リ暴民傷四解散ス
九日	(軍南) 孟山	約百名ノ暴民憲兵分遣所ニ乱入シ暴行ス	天通教徒	徳川ノ兵士約二百名	憲兵上等兵一即死補助員八員傷野人死傷五十五名暴民解散セリ
十一日	(咸南) 咸興	依然形勢不穩			憲兵中兵一校同ノ警退不慮夫死一補助員一重傷暴民約五十死傷ス
十日	(咸南) 咸川	憲兵分隊ヲ襲フ騷擾ス		北青ノ兵士約二十名	北青軍隊ニ警戒中 (十日)
九日	(咸南) 新興	集合シ不穩			憲兵ト衝突ス暴民死傷者約十名 (十日)
八日	(咸南) 北青	集合シ不穩ノ兆アリ依然不穩			解散セシム 暴民死一傷六
十日	(黃海) 咸津	不穩ノ形勢アリ、警備ト衝突ス	學生ヲ包含		解散セシム
十日	(全南) 全州	群衆ノ不穩ノ兆アリ			警備官一員傷九 (十日)
十日	(慶北) 慶州				
十日	(慶北) 大邱				
十日	(江原) 鐵原				
十日	(黃海) 温井洞	憲兵駐在所ヲ襲ヒ暴行ス			兵士ヲ使用解散セシム暴民死二、憲兵一補助員一員傷
十日	(京畿) 汶廟				
十日	(黃海) 文里				
十日	(平北) 化里	獨立運動ヲナス			鎮壓ス

十四日	十五日	十五日	十六日	十五日	十五日	十五日	十五日	十四日	十五日	十二日	十三日	十二日	十二日	十一日	九月	十日	十一日	十二日
直史場	新山	宣寧	松山	定平	花台	章英	鞠城	古土	吉州	青丹	公州	大田	松木	明寧	南川	南化	文化	溫井
約五百名	多数	約四百名			約五百名	不明	約三百名	不明	不明	約六百名			約三百名	不明	約三百名	約三百名	約三百名	約二百名
憲兵駐在所ヲ襲ヒ暴行ス	憲兵駐在所ノ及内地人鉄道宿舎ヲ襲フ	合右	合右	不穩ノ状アリ	憲兵駐在所ヲ襲ヒ暴行ス	不穩ノ状アリ	独立運動ヲナス	憲兵出張所ヲ襲フ	合右	不穩ノ状アリ	略奪ス	市目ヲ利用シテ示威運動ヲ行ヒ公州及其附近ニ警察署ヲ襲フ	憲兵隊ニ押寄リ暴行ス	不穩ノ状アリ	警察署ヲ襲フ	独立運動ヲナス	憲兵駐在所ヲ襲ヒ暴行ス	
			普通警察生徒ヲ中心トス				天道教徒ヲ中心トス	暴徒				天道教徒ヲ中心トス						
		下士以下八名	下士以下七名	兵卒五名	警備員五名	捕殺者十名	警備員十名			警備員十名		大			特務部長以下三名			
合右署民員傷五名	主謀者ヲ検挙スル主謀者中ニ二名ハ書記官本家アリ東面ニ官公署ヲ襲ヒテ見込	捕殺者十名		警戒中	善司即死五憲兵二員傷		鎮壓ス	警戒中		主謀者ヲ検挙解散セシム		事前ニ主謀者ヲ検挙シ防壁ヲ解散セシム(十三日)	解散セシム署民輕傷五補助員、輕傷二	解散セシム		鎮壓ス	解散セシム署民輕傷五補助員、輕傷二	兵者ノ使用解散セシム署民死二憲兵一補助員一員傷

十五日	十五日	十五日	十五日	十五日	十五日	十四日	十四日	十四日	十四日	十四日	十五日	十五日	十六日	十五日	十六日	十七日	十七日	
(咸北) 輸城	(咸北) 章其	(咸北) 花台	(咸南) 定平	(咸南) 松行里	(咸南) 宣寧	(咸南) 新北里	(咸南) 宣使場	(咸南) 甲山	(京畿) 州内 (忠南) 德源里 (忠南) 維鳩 (忠南) 牙山 (忠南) 木川 (全南) 海南	(慶南) 統營	(同北) 統原	(同北) 沐洞里	(慶北) 禮安	(黃海) 延白	(咸南) 三坪林	(咸南) 信城	(咸南) 居山	
約三百	不明	約二千名			約一千名	多數	約五百名	約一千名	約一千五百名	約一千五百名	約百八十名	不明	約五百名	約三百名	不明	約三百名	約七十名	
獨立運動ヲナス	不穏ノ象アリ	憲兵在所ヲ押守ル	不穏ノ兆アリ	憲兵在所ヲ押守ル	憲兵在所ヲ襲ヒ暴行ス	憲兵在所ヲ襲ヒ暴行ス	憲兵在所ヲ襲ヒ暴行ス	憲兵在所ヲ襲ヒ暴行ス	憲兵在所ヲ襲ヒ暴行ス	憲兵在所ヲ襲ヒ暴行ス	憲兵在所ヲ襲ヒ暴行ス	憲兵在所ヲ襲ヒ暴行ス	憲兵在所ヲ襲ヒ暴行ス	憲兵在所ヲ襲ヒ暴行ス	憲兵在所ヲ襲ヒ暴行ス	憲兵在所ヲ襲ヒ暴行ス	憲兵在所ヲ襲ヒ暴行ス	
天直教徒ノ中心トス		普通兵校生徒ノ中心トス			天直教徒ノ中心トス													
騎兵六十名 歩兵十名	海兵十名	騎兵十名 (歩兵若干名)	兵卒十名	兵卒十名	兵卒十名	兵卒十名	兵卒十名	兵卒十名	兵卒十名	兵卒十名	兵卒十名	兵卒十名	兵卒十名	兵卒十名	兵卒十名	兵卒十名	兵卒十名	
鎮壓ス		暴動死傷者二名 負傷者	暴動中															
		主謀者ヲ検挙ス 主謀者中二名 書記官本家アリ 裏面ニ官公署 動スニ見 警察解散セシム 暴民負傷約 十名																

十五日	龍原	約千五百名	家兵駐在所前ニ騷擾ス		約千五百名	三浦(郡)中(支)ノ騷擾ニ解 散セル
十六日	沐洞星	約百八十名	家兵ニ對シ暴行ス			鎮壓解散セル
十七日	禮安	不明	不慮ノ騷アリ 警察官駐在所ニ騷擾セリ 家兵ニ對シ暴行ス		家兵ニ對シ暴行ス	警察官駐在所ニ騷擾セル 家兵ニ對シ暴行ス
十五日	賈海	約百名	群衆ニ示威運動ス 不慮ノ騷アリ			主謀者ヲ檢挙解散セル 解散セル
十六日	延白	約三百名	不慮ノ騷アリ			
十五日	(咸南)	不明	集會ニ獨立運動ノ謀議ス		約百五十名	全團ヲ探知シ十九日ニ檢挙ス 警戒中
十六日	三平場					
十六日	(江原)				約百五十名	
十七日	備城	約三百名	示威運動ヲス			解散セル 警戒中
十七日	居山	約七十名	憲兵駐在所ニ押入り			鎮壓中
十七日	(咸南)	約數百名	不慮ノ騷アリ			解散セル
十七日	永興	不明	群衆ニ騷擾ス			
十六日	(咸南)					
十六日	江華島					

(大 三) 暉春
及 附 州 院
附 院

十音甫別ニテ完全書ヲ書キ下ニ或是カシトシテ...
不逞鮮人廉畑(註?)等同志ヲ糾合シ軍資金ヲ募集セントシ耶蘇教徒等ト提携事ヲ奉クル建
國會ニテ之ヲ組織セリト
十七日頃ニ咸北龍峴對岸露領ニ於テ鮮人不慮ノ騷アリ

(順 那 支) 間
面 方 島 川

一、京城ニテ発表セラレタル獨立宣言書到著シタルトハ、咸北方面ニ騷擾ニ解
國兵位者等トは、咸北ニテ獨立ニ解散セルヲ期シ龍井村耶蘇教徒等ニテ獨立宣言書ヲ発表セントシテ、鮮人ノ
運動ニ未國人宣教師及支那官憲ノ煽動スル所アルカ知シ
孟團長ハ鮮人ノ音動ヲ戒メ、警接ニ際シテハ、断然威力ヲ用ニシテ、其論ヲ考シ、局子待テ、支那兵四十龍井
村ニ到著警戒ス
十三日多數鮮人龍井村ニ集會不慮ノ騷動アリ支那兵ノ制止ヲ肯カス迄、殺死ニ死者一四、傷者三〇シ出
シ解散ス支那兵ハ龍井村ニ約十名ヲ擧ル
龍井村ニテ騷擾セシ一部ノ他地方ニテ獨立運動ヲ行ハントスルハ、又一部ノ者ハ、暉春方面ニ向、ソトシテ
咸鏡北道下社地對岸地方ニ鮮人數百名集會シ、東萊台支那軍隊ノ警接ヲ得テ下社地ニ憲兵駐在所
ニ襲ヒ、後、テ、鮮人ニ侵入セントスル謀報アリ(十六日著報)茂山守備隊ヲ十七日ニ派遣シ警戒セル
意山鎮(咸南)對岸支那領ニ天南教徒タル鮮人不慮ノ騷アリ、支那官憲ノ警接ニ依リ鎮靜ス(十六日)
頭道溝ニテ鮮人ノ獨立運動ヲナサントセシ支那官憲ニ制止セラレタリ、直伊團長ハ鮮人ノ不慮行動禁
示ノ諭告ヲ發セリ

考	備	(大 三) 附 州 及 附 州 附 州	(頌 那 支) 面 方 島 川
<p>一、軍司令官の總指揮、命令の波及シテソノハル騷擾ヲ未然ニ防歴スル為十二日以後必要ノ個所ノ兵力ヲ分散配置セリ</p> <p>二、騷擾勃発シテ本館ノ経過ニ鑑ミルトキハ最初ノ数ヶ所ニ於テハ互ニ聯絡シテ保チテ独立運動ヲ起シタルカキキモ各地方各地ニ續テハ騷擾ハ悉ク抑止シテ運動ヲ企画シ官憲ノ壓迫ヲ受ケタル一部ノ不逞鮮人カ逐次ニ各地ニ入込ニ煽動騷擾ヲ惹起セシメタルカ或ハ誇大ニ相傳ヘテ事ヲ暴チテタルモノ如ク騷擾ノ方法區々ニシテ又事件發生ノ日時ノ如キ先チ騷擾ノ最モ猛烈ナリシ地區ヲ中心トシテ漸次交通ノ便否警察或ハ嚴刑ニ後ニ僻遠ノ地ニ波及スル状態アリ而シテ當市ノ運動ノ最モ猛烈ナリシ平安南武及黃海道方面ハ概シテ平靜ニ保シ警備ノ者派遣シテ一部隊ハ一部撤去セルモノアリ</p>	<p>(露 領) 浦 州 附 州</p> <p>十音浦朝鮮ヲ宣言書シテ示威運動ヲナシニコリスノ於テハ國民議會ヲ組織スル企圖アリト又浦州ヨリ學生其他一千名ノ同島ニ送リ同地ノ青年ハ九千ト合シ朝鮮ニ復入セントスル凡て</p> <p>浦州ニハ露國要塞司令官ノ命令ニ依リ独立運動不能ニ保マリト</p>	<p>不逞鮮人康炳益等同志ヲ糾合シ軍資金ヲ募集セントシ耶蘇教徒等ト提携事ヲ謀ル者建國會ナルモノヲ組織セリト</p> <p>十七日頃ニ咸北龍峴對岸露領ニ於テ鮮人不逞ノ化アリ</p>	<p>閩島ノ江清縣ニ武署ヲ運搬シ且同島ヲ不逞鮮人江清縣方面ニ侵入スル傾向アリ</p> <p>十三日ノ騷擾以來鮮人ノ日本人ニ對スル感情漸次陰惡トナリシヲ以テ日本人ハ自衛團ヲ組織シ警備中ニ</p> <p>不逞鮮人康炳益等同志ヲ糾合シ軍資金ヲ募集セントシ耶蘇教徒等ト提携事ヲ謀ル者建國會ナルモノヲ組織セリト</p> <p>十七日頃ニ咸北龍峴對岸露領ニ於テ鮮人不逞ノ化アリ</p> <p>閩島ノ江清縣ニ武署ヲ運搬シ且同島ヲ不逞鮮人江清縣方面ニ侵入スル傾向アリ</p> <p>十三日ノ騷擾以來鮮人ノ日本人ニ對スル感情漸次陰惡トナリシヲ以テ日本人ハ自衛團ヲ組織シ警備中ニ</p> <p>不逞鮮人康炳益等同志ヲ糾合シ軍資金ヲ募集セントシ耶蘇教徒等ト提携事ヲ謀ル者建國會ナルモノヲ組織セリト</p> <p>十七日頃ニ咸北龍峴對岸露領ニ於テ鮮人不逞ノ化アリ</p> <p>閩島ノ江清縣ニ武署ヲ運搬シ且同島ヲ不逞鮮人江清縣方面ニ侵入スル傾向アリ</p> <p>十三日ノ騷擾以來鮮人ノ日本人ニ對スル感情漸次陰惡トナリシヲ以テ日本人ハ自衛團ヲ組織シ警備中ニ</p> <p>不逞鮮人康炳益等同志ヲ糾合シ軍資金ヲ募集セントシ耶蘇教徒等ト提携事ヲ謀ル者建國會ナルモノヲ組織セリト</p> <p>十七日頃ニ咸北龍峴對岸露領ニ於テ鮮人不逞ノ化アリ</p>

第一二號 共六九

三月廿日

第一四九號

電報譯

三月二日

日午前午後二時五分

分分

253

陸軍大臣

宛

發信者

朝鮮軍司令部

朝鮮特務四七号

其有之在之世況二或度北在之其後王穩

254

方新地對岸 爲之在之其後王穩

0281

其人之江岸ヲ被

其即寺傳也

地前山等以

其有之在之世況二或度北在之其後王穩

其有之在之世況二或度北在之其後王穩

其有之在之世況二或度北在之其後王穩

0282

0282

第...二號...

三月廿日

第一四九號

電報譯 三月二日 午前午後 時五十分發

253

陸軍大臣 宛 發信者 朝鮮軍司令部

勅特第四七号

去日...状況...咸鏡北道...其後王穩

トナリシテ...板去...下...第...里

対...野人...弟...王穩...東京...支那...寺...

及...海...十七日...各所...朝鮮人...江岸...

...檣標...同地...部...板去

...江華島...其後...王穩...温水

...江華市...朝鮮人...不穩...温水

0282

将校以下十名ヲ其ノ解散セシム。

忠清北道 槐山ニ於テ 群衆 離散セシム

校以下十名ヲ其ノ解散セシム 漢北道 尚州ニ善者ニ

ハ十九日午後四時 孝由ニ着シタルガ 暴民ニ七百ニ盡

兵ニ衝突中ナリシヲ以テ 空屯ヲ終成 嚇ト名ヲ尚 反抗

セシムテ 軍屯ヲ催用シ 退散セシム 内地人ヲ故去セシ

暴民ノ死一頭傷十四、漢南道 咸安ニ於テ 群

衆集結 漢南道 咸安ニ於テ 群衆行セリ 鎗砲

ヨリ 郡北ニ將校以下十九名ニシテ 滋事セリ

漢南道 順天ニ於テ 不穩ノ 群衆ヲ 將校以下十名ヲ

滋事セシム 其後 王親ヲ 滋事セシム 滋事セリ

大臣 次官 陸軍 陸軍

第一〇二號 共九〇

三月廿日

第一九六號

電報譯

三月二十日 午前午後 五時四分著

陸軍大臣

宛

發信者

朝鮮軍司令官

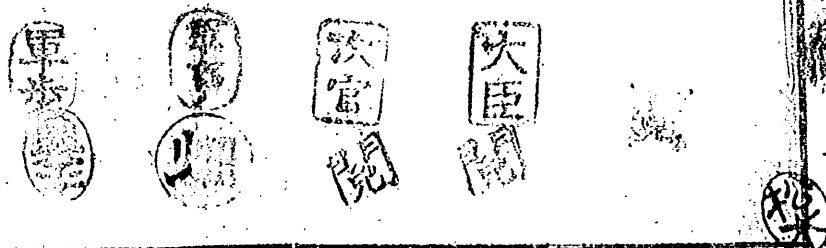
256

朝鮮軍八号

琿春ニ於テ六二日ヨリ三日ヲ期シ独立宣言運動ヲ起ス様
 了群集ス者中ニハ武器ヲ有ス者アルカ也シ
 軍隊ニ對シ取締ル方電命セリ
 通化電排日鮮人数百名ハ独立
 運動ヲ實施スル為十九日又二十日通化ニ集合スル情報アリ
 通化鎮事右略ニ支那官對シ運動ヲ中止セラル様交渉中ナリ

陸軍

0284



第...七號 共九一 三月廿日 第一一號

電報譯 三月廿日 午前午後 一時三十分

陸軍大臣 宛 發信者 朝鮮軍司令左方

朝鮮五一

軍備隊長報

平日午後一時頃果徑七百内五百武裝シ武裝セラル者ハ拳銃ヲ所持ス 彈春願本館前ニ多ク萬歳ヲ稱(國旗ヲ引下シ) 稱キ出レリ 為陸續 露頭方面ニ集存中 指官ニ 黃炳赫ニシテ 人甚多ニ危害ナシ

陸軍

79

257

0285

陸軍

第一〇二號 共二
三月廿日
第一三號

電報譯
三月廿日 午前九時四十分發

陸軍大臣 宛 發信者 朝野 軍司令部 258

朝特第20号
五月廿日午前三時 璋者 歸年
雖ヲ、特使ヲ以テ慶源 慶兵

分隊長ニ執ノ急執アリ
各地ヲ璋者ニリハ三三九ノ四千 不穩ノ望アリ 今明日中ニ 秘ニ至

言式ヲ行ヒ 示成運動ヲ為シ 以テ期ニ於テ 規程ヲ設ケ 諸部ヲ

目的ニテ 密ニ武若ヲ 檢査シ 居リ 非常ノ 場合ニ 應 援ヲ
ス

陸軍

0286

四月二日 田部八七

案第一〇二號 共九三

朝憲密警第七八號

現役將校犯罪ノ件報告

大正八年三月十八日

現役將校(野)徳三運部

260 0287

八番地 血城洞

259

元勳 三 中 隊 休職陸軍歩兵少尉 趙 詰 錫

(大正七年現役停年名簿七六三頁)

大正八年一月下旬ヨリ平北定州郡葛山面
益城洞耶蘇教長老李演煥及私立五山學校長曹
晚植等ト共謀シ朝鮮ノ獨立ヲ計リタル証據十
分ニ付所轄定州憲兵分隊ニ於テ檢察處分ニ着

0288

四月二日 回第 八七號

卷第一〇二號 第九三

朝憲密警第七八號

現役將校犯罪ノ件報告

大正八年三月十八日

陸軍大臣田中義一殿

本籍京畿道京城府茶屋町八十八番地
住所平安北道定州郡葛山面益城洞

私立五山學校教師

元陸軍歩兵第三十九聯隊 休職陸軍歩兵少尉 趙 喆 錫

(大正七年現役停年名簿一七六三頁)

大正八年一月下旬ヨリ平北定州郡葛山面
益城洞耶蘇教長老李煥煥及私立五山學校長曹
晚植等ト共謀シ朝鮮ノ獨立ヲ計リタル証據十
分ニ付所轄定州憲兵分隊ニ於テ檢察處分ニ着

大正八年三月廿九日
大正八年三月廿九日
五ノ號

三

259

0288

手致候候不取敢及報告候也

追テ本人ハ三月五日安奉線下列車ニテ下馬塘駅ニ於テ本溪
湖警務支署ノ手ニ逮捕セラレ身柄ハ定州憲兵分隊ニ護送、
上目下同分隊ニ拘束中ニ有之候条申添候

261

0289

卷一〇二 九四

第八卷

電報 三月 二十日午後七時五分發

大臣 苑 茂信者 兒島

262

(二六)

十九日慶北義城郡 暴民一〇〇〇

警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署

嚴モレム 暴民死之傷三 同郡 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署

一〇〇〇 運動之為シ 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署

ヨリ 歩兵 騎兵 以下ニセ 赴接ス 又十八日 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署

警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署

警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署 警署

走

頁

0290

登徳を暴民約せ。警率署に留置し耶蘇教
 徒を奪取スル企圖アリ。漢支六。名に應接に依り
 率ナキヲ得たり
 昨電傳に悔に於ケルに登徳署長以下ハ暴民ノ意ノ
 結去セラレタルモノニテ暴民ハ十九日朝ヨリ引續キ數百
 名集合シ運動ヲ爲シガ應接ノ歩兵、憲兵ト協カ
 署長以下ヲ救ヒ出シ解散ヲ命セシモ反抗セシヨリ
 遂に解散セシム彼ノ死傷數名アル見込
 十九日慶南成安、多數ノ暴民警率官駐在
 所、郡衙、郵便署等ヲ襲撃ヒ器物ヲ破壊シ
 群集ヲ散打スル等ノ暴行アリ。遂に謀者ヲ取

押へ先ツ解散セシメタルモ尙危険ノ状アリ重砲兵隊ヨリ下士以下一ト對援ス

十九日咸北花岩イ處兵分遣所管内ヲ犯人逮捕シ向ヒタル處兵ヲ對シ兇器ヲ反抗彼ノ傷者トシ出ス十八日明川郡標社場ニテ〇〇ノ暴徒警察官駐在所ヲ襲ヒ暴行ス葦原解散セシム彼ノ死ニ傷亡ヲ出ス其ノ他黃海、慶南、忠北、咸北各邊内ニ善平ノ運動アリ

朝令の旨を以て、聖旨に同意

密第一〇二號 第五 三月廿二日 第一四九號

電報譯 三月二十日午前四時三十分着

陸軍大臣家 発信者 兒島憲兵司令官

265

二五

十六日一七報ノ下社地對岸暴民ニ備フル為茂
山守備隊應援ノ如十七日復飯ス〇十五日以來
茂山郡内江村對岸地方ニ取籠天道教徒
ノ独立運動盛ナリシカ十七日ニ至リ東京台
支那軍隊西作洞地方ニ出動鎮撫ニ努メ
居レリ〇輝春ニ於テ未ル二十日カ二十一日ヲ期シ
独立宣言行動ヲ起ス模様アリ中ニ六武器ヲ

0293

有スルモノアルカ如シ孟圍長ハ璋春軍隊ニ取
締方電命セリ通化縣金斗伏洛及快當
帽子附近ノ排日鮮人數百独立宣言運動
ノ為二十日頃通化ニ來ル答ニツキ通化領
事分館ニ取締方交渉セリト我江岸嚴
戒中

266

0294

陸軍部 〇二 三月廿一日 第三三三號 267

電報譯 三月三十一日 午前午後 時 分著

大臣宛 發信者 朝鮮駐劄軍司令官

朝特茅五〇号

慶源守備隊長ノ報告ニ依リ暉春領事ノ為使訓
守備隊ニ来リ今二十日朝八時暴徒四百暉春西
門外ニ集合東門外ニ不明ノ集團アリ西路西亞官憲
ハ何等処置ヲ執ラサルヲ至急應援ヲ依頼シ
来リ以上ノ 情況ニ基キ總督ノ指示ニ依リ
中隊ノ主力ヲ慶源ニ集メ同地中隊ト共ニ爾後ノ
行動ヲ注平備セシメ尚羅南ヨリ歩兵一中隊機回

0295

鏡
隊
騎
各
一
十
隊
ヲ
油
小
倉
子
ハ
川
邊
迄
セ

會

階

圖

268

0296